



2024年5月29日

各位

会社名 株式会社力の源ホールディングス
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 山根 智之
(コード番号：3561 東証プライム)
問合せ先 IR室 藤澤 成駿
(TEL. 03-6264-3899)

ENEOS株式会社との業務提携についてのお知らせ

当社とENEOS株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：山口 敦治、以下「ENEOS」）は、このたび、当社の事業所から排出される廃食油を持続可能な航空燃料（以下、「SAF」といいます。）の原料として活用する取り組みに関する基本合意書を締結いたしましたのでお知らせいたします。

具体的な取り組み内容といたしましては、当社社会が運営する「一風堂」「因幡うどん」「そば蔵」の各店舗及び各子会社の自社工場などから排出される廃食油を回収し、ENEOS和歌山製造所（和歌山県有田市）で事業化を進めるSAFの製造プラント（能力40万キロリットル/年）で原料として使用することにより、SAFへトリサイクルする仕組みを構築することを予定しています。

記

1. SAF（持続可能な航空燃料）需要への対応

SAFは、「持続可能な航空燃料」（Sustainable Aviation Fuel）の略称で、廃食油やサトウキビ、都市ごみ、廃プラスチックを用いて生産します。原油を精製して生産する従来のジェット燃料と比較し、約60～80%のCO2削減効果があるとされています。

国際的には、2020年以降、国際航空からのCO2総排出量を増加させない、2050年に炭素排出をネットゼロといった目標が掲げられ、日本国内では、2030年時点のSAF使用量について、国内航空産業による燃料使用量の10%（需要見込み171万KL相当）をSAFに置き換えるという導入目標が掲げられており、国産SAFの開発及び製造が推進されています。

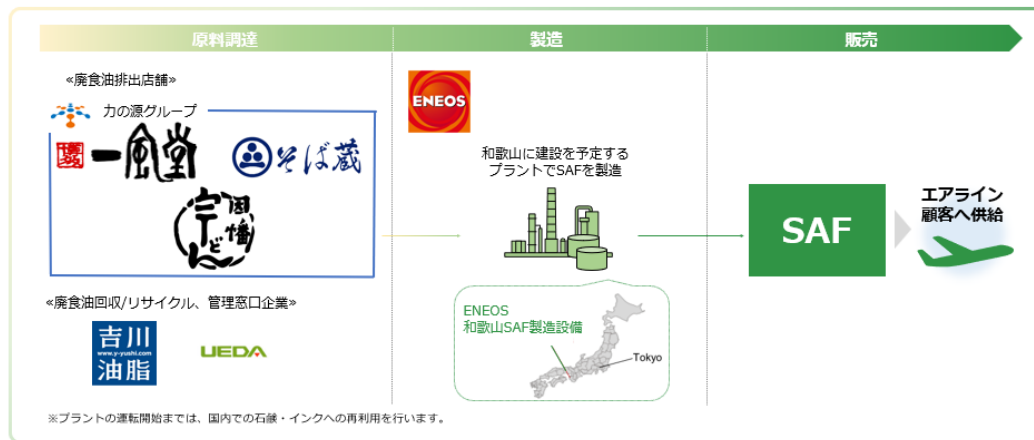
出典：国土交通省、経済産業省、国際民間航空機関（ICAO）

2. 廃食油の回収とSAF生産までの流れ

廃食油は、揚げ物などの調理に使用された食用油の総称で、国内では食品工場や飲食店、スーパー、コンビニ、家庭などから年間約50万トン（2021年度）が排出されています。また、飲食店や工場等から排出される事業系廃食油のうち、飼料用途等にリサイクルされている一方で、一部は国内で活用されず輸出・廃棄されています。世界では、このような廃食油を活用したSAFの生産が行われており、国内でも回収・活用の取り組みが広がっています。

出典：全国油脂事業協同組合連合会

【廃食油活用の流れ（イメージ）】



以上